

国際会議等参加費支援 採択者報告

SMiRT28 参加報告

大学院理工学研究科博士前期課程 都市システム工学専攻 2年 二本松景人



大学院理工学研究科・博士前期課程・都市システム工学専攻・修士2年の二本松景人と申します。私はこの度、2025年8月10日～15日にカナダのトロントにて開催された28th International

Conference on Structural Mechanics In Reactor Technology (SMiRT28) に参加しました。

本会議は、原子力構造工学に関する国際会議です。その中で私は、New Technologies (Additive Manufacturing, AI, Digital Twin) のセッションにおいて、“Injury Evaluation of NPP Operator During Earthquake Based on Seismic Response Analysis Model of Human Body Considering Collision” (衝突を考慮した人体の地震応答解析モデルに基づく、地震時における原子力発電所運転員の負傷評価) という題目で口頭発表を行いました。本研究は、過去の地震被害や事例から、原子力発電所の被害軽減のためには人的被害対策も必要であるという考えのもと、地震の揺れに対する人間挙動および人と人や物との衝突を考慮した人体の地震応答解析モデルを構築したものであります。本研究は地震の揺れ最中の人間挙動に着目したもので、世界を見ても前例がなく、会議参加者にとっては馴染みのない内容でありました。また、使用言語は私自身慣れない英語でありました。そのため、発表時に聴衆に研究内容を正しくかつ理解しやすく伝えることができるよう、用いる単語や発音、表現、発表内容の構成等、時間をかけて準備を重ねました。その結果、発表時には大きな自信を持って発表および質疑応答を行うことができ、各国の研究者たちからいくつもの嬉しい言葉やリアクションをいただきました。またセッション後にも、数人ほどの各国の研究者から質問をいただき、追加で議論を行うこともできました。

そして私は自身のセッションにおいて、発表者であると同時に司会も務めました(図1)。初めにその通知が来た際はたいへん驚き、不安も感じましたが、共に司会を務めた Mohinder の優しい人柄にも助け



図1 司会の様子

られ、無事円滑にセッションを進行することができました。

また、発表および司会業務以外にも、他の方々の発表の聴講や Banquet (晩餐会)、空き時間の観光(図2)等、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

この度の国際会議への参加により、言葉では言い表せないほど数多くのものを得ることができました。このような貴重な経験をする事ができたのは、多賀工業会の国際会議参加費支援のおかげです。心より感謝を申し上げるとともに、今後はこの経験を活かし、さらなる成長をめざして一層精進していくことを誓います。



図2 クルーズ船から見た Niagara Falls

